



梅雨入り後の月曜日は真夏日で、暑い一日でした。園庭での体育や外遊びも20分程度に限定しています。小さい子どもは汗をかくことを厭わず、遊び続けてしまいます。ご家庭での外遊びの際も、水分補給や汗をしっかり拭くことを心掛けて、暑さと上手に付き合っていくようにしてください。

さて、今回は奥田健治先生の『子育てのほんとうの原理原則』をテーマに皆さまに考えてもらおうと書いてみます。この本の帯に「もうムリ、助けて、お手上げ」をプリンシプルで解決、と書いてあります。

家庭に、子育てに関する原理・原則＝プリンシプルをもとう、いつどんな時も、都合や気分にも、世間の風潮にも惑わされず、一貫した態度で子どもに接すること。親に求められるのは、「これだけは我が家の決め事にしよう」というルールを決め、守る態度です。

例えばお菓子は1個だけ、YouTubeは親と一緒に5分だけと決めたら、徹底してそれを守り抜くのです。たかが1個が、子育てがうまくいくか行かないか、の大きな分かれ道だと奥田先生は書いています。

もう1個欲しい、となれば「キーーーーー！」と金切り声を発する、泣き続ける。でも「キーーーーー！」で要求が叶うと、将来、ちょっと気に入らないことがあるとこの声を発し、要求が通らないとキレる子になってしまいます。そういう問題をはらんでいるのです。キレて親を脅しているのです。

「キーーーーー！」はお母さんの「弱み」。「弱み」を持っていると、子育ては不利になってしまいます。「やるならやってもいいけど、必ず損をさせること」という親の新しい姿勢が大切です。

この、例にあげた子どもは「キーーーーー！」と言えば親が言うことを聞くということを学んでいます。この手が通用するのを経験すれば、何度でも同じことを繰り返し、要求はどんどんエスカレートするものです。子どもが社会に出て困らないように「それはいけないこと」と小さいうちから教えておかなければならないことはたくさんあります。

子育ては手がかかることです。今の日本はお母さんも働かなければいけないようになっていきますから、手がかかるのに、手がかけられない状況であることは私達にも十分わかっています。でも、手を掛けずに、

放っておいて社会に適應できるいい子に育つなんてことはありません。手がかからない子なんていないのです。

「家庭のルールづくり」をすると、お母さんの子育てでは昨日よりも倍以上たいへんになります。YouTubeと一緒に5分だけ見ることも、だめなものはだめ、を徹底することも、根気がいるし、面倒なことでしょう。

でも子どもがルールを守れたら、ちょっとではなく、めっちゃうちに褒めてあげてください。盛大に喜んであげないといけない。子どもはルールを守るという大変なことをやってのけたのです。それが「とても素晴らしいこと」というのを、子どもに伝えることが必要なのです。

幼稚園は集団生活で、わがままは通用しないところ、と子どもたちもわかっている、6月にもなれば集団生活にも慣れ、振舞い方もわかってきます。ところが家庭に戻ると、王子様とお姫様ばかりのようですね！家庭でわがまを言っているのは片目くらいづりますが、家庭と同じように我を通そうとする子が時々います。泣き喚いて要求を通そうとします。でも、主導権は当たり前ですが、先生にあります。幼稚園にもルールがあり、決まりは子どもではなく先生が決め、子どもは守らなければいけないからです。特別はありません。一貫しないと、命にかかわることにもなりますし、子ども達全員に迷惑をかけてしまいます。幼稚園はそういう覚悟を持っていることも、知っておいて欲しいことです。

園長 志田裕美子

<年中組今月の目標>

健康・・・自ら水分補給を行なう
人間関係・・・自分の考えをみんなの前で発表をする
環境・・・自分の持ち物やロッカーを整理する
言葉・・・文章で話す
造形・・・絵手紙、得点うさぎ、描画
音楽・・・「おへそ」「おばけなんてないさ」
「魔法の呪文」

<担任から今月のメッセージ>

先日の家族参観に参加して頂き、ありがとうございました。初めに皆だけが教室に入り、椅子に座っていると緊張している子が多く見られました。少しでも柔らげようとみんなの前で、お尻フリフリしたままみんなに近づくと、
「お尻が近づいてくる～！」といつもの元気な皆に戻って来た気がしました。
「みんな緊張してるのー？」と聞くと
「してないよ！」
「パパとママがあそんで見てるから少し緊張してるけど、楽しみ！」
とワクワクしている子がたくさんいました。

プレゼント製作では、
「水色と茶色で、洋服作ろうかな」
「髪の毛短いけど、髭は生えてるんだよ！」
「周りはハートにしよう！」
「ぱぱとままとお兄ちゃんの好きな色を使って作ったよ！」
と気持ちを込めてじっくり丁寧に製作していました。また、プレゼントの歌も気合いが入って、ピアノを弾いてない時でも
「プレゼントのうたはー？」
「とけいのうた歌いたーい！」
と子ども達同士で歌っていました。ピアノを弾いていても
「もう1回歌いたい！」
と毎日何度も歌っていました。

合同遊びでは、ホールにつくと
「何でも作っていいの？」
と目を輝かせながら聞いてきて、ダンボールをゲットすると、
「お店作ろう！」
と、周りにいた友だちを誘い、お菓子屋さんを作っているところやお家を作っているところがありました。素材をたくさん使い、
「キッチンは何で作ったらいいかな？」
「大きい箱と牛乳パックで作れないかな」
「あ！それいいね！」

と相談しながら家の中やお店の中のものを作っていました。

出来上がると、
「私がお母さん役やるね！」
「じゃー私はおばさん役！」
「僕はシマエナガ！」
とごっこ遊びが始まり、面白い配役をしている子もいました。

細かいものを作っている子がたくさんいたので、これから造形でみんなが想像力と、器用さを発揮してくれるのが、楽しみになりました。

活動中に多少のものの取り合いや、貸し借りでトラブルがありました。子ども達同士で話し合い、解決できていました。まだ自分の気持ちを一方的に伝えるだけのこともあります。集団生活や行事を通して相手の気持ちも受け入れることを学んでくれたらと思います。

日に日に活発になっていくにじ組がこれからどれくらいまで盛り上がるのか私も楽しみです！

※お持ち帰り頂いた朝顔ですが、「摘心」をすると、よりつるが伸び葉も増えやすくなるそうです。詳しくはGoogle先生を頼ってみてください。

渡辺 由佳